

決済システムの強化を考える

ー アジアにおける決済の円滑化と資金循環の活発化 ー

セッション I 「アジアにおける資金フローの現状と決済システムの関連性」

マレーシアの決済システム

アジア開発銀行研究所研究部長
マリオ ランベルテ

アジア開発銀行研究所リサーチ・インターン
アミル アクマル ビン バシール

概要

本稿では、近年変革を遂げているマレーシアの既存の決済システムについて考察する。このような著しい変革のひとつとして、電子決済システムの登場を挙げることができる。マレーシアでは、1990年代終盤から2000年代序盤にかけて、電子決済ツールが積極的に導入された。その結果、電子決済ツールを利用した国民1人当たりの取引高はここ数年で大幅に増加している。そこで、本稿では、電子決済ツールの利用により事業運営の高効率化、コスト削減、安全性の向上および決済チャネルの選択肢の増加がもたらされることから、いかに中小企業が電子決済システムから多大なメリットを享受しているかについて考察する。また最後に、現在の世界的金融危機がマレーシアの資本フローや決済システムに与える影響についても評価する。